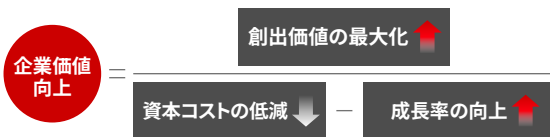


サステナビリティ戦略

日立は創業以来の企業理念に基づき、110年を超える歴史の中で、社会が直面する課題の解決に取り組んできました。経営計画Inspire 2027においても、これまで以上にIT、OT、プロダクトの強みを活かし、環境・幸福・経済成長が調和するハーモナイズドソサエティの実現に貢献し、持続的な企業価値の向上をめざします。

PLEDGESは、日立の「企業価値向上フォーミュラ」(P.04)の全要素に寄与します。



・人的資本の強化や環境・社会価値の創出による事業機会の拡大	↑ 創出価値の最大化
・成長マインドセットをもつ人材の育成と社会課題を起点としたイノベーション創出により、持続的に成長	↑ 成長率の向上
・透明性の高いレジリエントな経営を通じた市場からの信頼獲得・向上	↓ 資本コストの低減

CHRO and CSuOメッセージ

PLEDGESを通じた持続的成長の実現

執行役専務
Chief Human Resources Officer 兼
Chief Sustainability Officer

ロレーナ・デッラジョヴァンナ



PLEDGESの実装

長期的な企業価値の創出には、規律ある実行力と、変化への適応力を備えた組織が不可欠です。Inspire 2027を推進するなかで、PLEDGESは私たちの事業運営を導く指針として、行動と意思決定、さらには事業運営全体にサステナビリティを組み込み、お客さま、社会、株主の皆さまへの長期的な価値創造につなげています。

そして、その価値創造を支える原動力が人材です。私たちは、リーダーシップの強化、重要なスキルの向上、そしてインクルーシブで高い成果を生み出す企業文化への投資を通じて、イノベーションを創出し、変化する市場やお客さまの期待に柔軟に対応するための俊敏性とレジリエンスを高めています。こうした取り組みにより、持続的な成長の実現をめざしています。

コミットメントを成果につなげる

2025年度は、PLEDGESの各戦略の柱において着実な進展を遂げました。脱炭素化やサーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブに向けた取り組みを推進するとともに、バリューチェーン全体におけるガバナンスと人権尊重を強化しました。また、安全衛生を最優先事項として位置づけ、継続的に取り組んでいます。

さらに、事業計画や事業運営における意思決定にサステナビリティを一層組み込むことで、グループ全体で一貫した実行を推進しています。

MSCI ESGレーティングにおける最高評価「AAA」の継続評価や、インクルージョンの推進を評価する「カタリスト・アワード (Catalyst Award)」の受賞、さらには「World's Most Ethical Companies」の一社としての選定などの社外評価は、私たちの取り組みが着実に前進していることを示すものであり、長期的な視点に立った経営への信頼をさらに高めるものとなっています。

未来を支える組織の構築

Inspire 2027の実現を支えるのは、人材の力と変化に適応できる強靱な組織です。2025年度は、次世代リーダーの育成パイプラインの強化、社内人材の流動性を高め、急速に変化する事業環境や社会の要請に対応するために必要なスキルへの投資に取り組むとともに、グループ全体での連携を一層推進しました。これらの取り組みにより、One Hitachiとしての一体的な事業運営を加速させるとともに、お客さまのニーズに対して、より迅速かつ柔軟に、そしてイノベーションを通じて応えていく力を高めています。

AI活用の加速

日立において、AIは大きな事業機会であると同時に、組織として備えるべき重要な能力でもあります。2025年度は、AIリテラシーの向上、人材の能力開発、そして実践的な活用事例の展開を通じて、責任あるAI活用を加速させました。私たちがめざすのは、単なる技術導入ではありません。AIと人の専門性を融合することで、生産性の向上、意思決定の高度化、そしてイノベーションの加速を実現することです。

今後に向けて

私たちの優先課題は明確です。

今後もPLEDGESを事業全体に一層浸透させるとともに、規律ある実行を徹底し、将来の成長に必要な能力の強化を進めていきます。また、責任あるAI活用を拡大しながら、人とテクノロジーがそれぞれの力を最大限に発揮し、より大きなインパクトを生み出せる組織づくりを推進していきます。

こうした取り組みを通じて、日立の競争力をさらに高め、お客さま、社会、そして株主の皆さまに持続的かつ長期的な価値を提供していきます。